

- (1) 会議名
令和元年度第2回北杜市環境保全基金活用検討委員会
- (2) 開催日時
令和元年11月20日(火) 午前10時～午前12時
- (3) 開催場所
北杜市役所本庁舎大会議室
- (4) 出席者
委員
協力企業代表者 平山隆之
市民代表者 齊木和茂
市民代表者 山田輝夫
環境保全団体代表者 篠原充
環境保全団体代表者 跡部治賢
環境保全団体代表者 塚本祐二
環境保全団体代表者 増田直広
北杜市副市長 土屋裕
北杜市企画部長 山内一寿
事業所管課
環境課新エネルギー推進担当 日向武彦
林政課林政担当リーダー 内藤和樹
観光課観光振興担当リーダー 田中佐記子
観光課観光振興担当 溝口有紀
観光課観光振興担当 天池栄子
商工・食農課食育・地産地消担当 堀内健
まちづくり推進課建築開発指導担当リーダー 篠原賢
まちづくり推進課建築開発指導担当 小尾美紀子
須玉総合支所増富出張所課長 津金胤寛
事務局
政策秘書部長 小澤章夫
政策秘書課政策調整担当リーダー 日向重貴
政策秘書課政策調整担当 篠原振一郎
- (5) 議題
・令和2年度基金活用事業の予算について
・その他
- (6) 公開・非公開の別 公開
- (7) 傍聴人の数 0名

1. 開会

2. 委員委嘱

3. 市長あいさつ

令和元年度第2回北杜市環境保全活用検討委員会を開催するに当たり、お集まりいただき感謝申し上げます。

また、委嘱させていただいた委員の皆様には、お忙しいとは存じますが、この検討委員会において、様々な立場から御意見を伺えればと思いますので、よろしく願い申し上げます。

北杜市の素晴らしい自然環境を次世代につなげていくために、どのように守っていくかということが大きな課題であります。

今月開催された市制施行15周年記念式典において、「マイバック宣言」と「食べきり宣言」をいたしました。本市は、環境保全のトップランナーとして、しっかりと事業を進めていくことが、私達の責務と考えております。

昨年度は、環境保全協力金として御協力をいただきました企業が67件と、多くの企業の皆様に御協力をいただいております。誠に感謝申し上げます。

本年6月には「甲武信ユネスコエコパーク」の登録が決定し、2つのユネスコエコパークを有する全国唯一の自治体となりました。

この北杜の自然環境を守るため、里山整備などの森林整備を始めとして、各種環境保全関係事業に有効に活用させていただいております。大変ありがたく思っているところであります。

また、市民の皆様の環境保全に関する取組が増えていることから、環境に対する意識も子ども達から高まってきていると感じており、この基金を売る事業が、市全体に環境保全に関する取組が広がっているものではないかと思っています。

今後も、北杜市の貴重な自然環境を次世代につなげる活動を市民と共に保全活動をしてまいりたいと考えております。

皆様には、本基金の活用について御検討をお願いするわけではありますが、皆様の御意見を伺いながら、しっかりとした環境教育、環境保全に務めてまいりたいと思います。

本日はありがとうございます。

3. 自己紹介

4. 委員長選出

(事務局) 北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第5条の規定により、委員長は委員の互選により定め、副委員長は委員長が指名することとなっていることを説明。

まずは、委員長の選出について、選出方法や御推薦があれば、御意見を伺いたい。

(委員) 事務局一任。

(委員) 本委員会は、大変重要な検討を行う委員会でもあることから、委員長経験が豊富な篠原委員を委員長に推薦する。

(事務局) 委員の方から御意見を踏まえ、篠原委員を委員長に選出することとする。

(篠原委員、委員長席に移動)

(事務局) 引き続き、副委員長の選出について、委員長の方から指名をお願いする。

(委員) 慣例により、市民代表の山田委員を指名する。

(山田委員、副委員長席に移動)

2. 委員長あいさつ

5. 議事

(事務局) 北杜市環境保全基金活用検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となることを説明する。

(議長) 傍聴希望者はなし。また、会議録署名委員を、平山委員と齊木委員とする。

(議長) 第1号議案の「令和2年度基金活用事業の予算について」、はじめに本日審議をいただく主旨と基金の状況について、事務局の説明を求める。

(事務局) 基金活用事業について、条例・要綱上の主旨と対象事業の範囲、基金の積立及び活用状況及び本日審議をいただく事業の全体像について説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) 異議なし。

(議長) 続いて、それぞれの事業の説明を求める。

全部で9事業あるため、まず、NO. 1「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」からNO. 4「環境教育推進事業」まで各所管課から説明を求める。

(所管課) 4事業について説明。

(議長) 質疑を求める。

(委員) ユネスコエコパークに登録された後のESDとユネスコエコスクールの活用とリンクしていることが推奨されているが、今回の事業内容だと直接的にはないが、今の時点での計画や取組の中で関連するものがあれば、教えていただきたい。

参考までに、長野県飯田市ではESDを中心とした取組が行われており、新潟県只見町では、町全体でESDやユネスコエコスクールが連携した形で、取組が行われている。

山梨県内では、南アルプス市でユネスコエコスクールがあるのが、北杜市においては何か計画があれば教えていただきたい。

(所管課) 今回の説明の中では、直接触れはしなかったが、南アルプスユネスコエコパーク推進事業における「子ども公民館劇場」について、市役所職員の有志による「北杜もり上げ隊」が中心となり3年続けて実施してきた事業で、

この事業を元に、武川小学校や白州小学校でユネスコエコスクールができないかということは考えてきたところである。

実際、学校や保護者、市教育委員会との調整を詰めていく必要があると感じている。

ユネスコエコスクールに関しては、世界的に進められているSDGsや環境教育も含め、次世代の育成がテーマとなっていることから、可能性を探りながら、出前授業など子どもに関する事業を進めていきたいと考えている。

(委員) 今後の可能性として、今の関連する取組が挙げられたので、この取組はユネスコエコパークに登録されたことを受けて、ESDとしての取組であること発信してもよいのではないかと思う。

(議長) 他にはあるか。

(委員) 南アルプスユネスコエコパークのホームページで広報していくということだが、一般の方は南アルプスユネスコエコパークと検索する必要があるのか。

また、連絡協議会のホームページとの連携の現状は。

(所管課) 現時点、市ホームページ上のサイトとブログを設けているが、独立したホームページは持っていない。今回、新たなホームページを作成した際には、3県10市町村の協議会のホームページのリンクはもちろん、関係する団体とのリンク付けも掲載する予定である。

(委員) 連絡協議会のホームページにあるデータなどは大変良いデータがあるので、連携できることが望ましいと考える。

もう一点、甲武信ユネスコエコパークの事業で、子ども達が定点観測をして、環境の変化を学んだり、体験したりする事業とされているが、今、放置林が膨大にあることから、所有者から一部借地する中で、活動に利用できるよう整備することはできないか。

他地域では、放置林を整備して、年に一回フェスタの開催や、散策路の整備をするなど、放置林の有効活用をしているところもある。

または、放置林を活用して、炭焼きの文化を紹介するような場所を作ること検討できないか。

(事務局) 全ての放置林を管理することは難しいが、人工林については、森林環境譲与税の制度を活用して進めていくことを考えていきたい。

民間の放置林については、市で全てを行うことは難しいと考えられるため、市の地域の団体への補助制度において、地域として大切な森林を活用していく取組を支援する方策を考えていきたい。

(委員) 数値目標の項目について、市民の理解度、環境保全活動を実践されているかについては、今年から観測しているのか。

(事務局) 数値目標については、本年度事業分から設定している。

ただし、観光課所管事業については、南アルプスユネスコエコパーク推進事業と世界に誇る「水の山」ブランド推進事業はアンケート調査を以前から行っており、その観測数値を用いて数値目標としている。

その他については、環境課所管事業では、環境基本計画で設定されている数値目標を用いている。

数値目標が設定されていなかった事業については、新たに数値目標を本年度

当初に設定したところである。

(委員) 数値目標の設定については、良いことだと思う。

今の環境を維持していくためには、行政だけではなく市民の皆さんも一緒になって活動していくことは良いことだと思うので、知っている認知度から活動の目的を理解している、そして興味を持って実践しているということが分かる数値目標の設定は、継続してほしい。

非常に大事な数値であるため、データの取り方はどのように行っているのか。

(所管課) 南アルプスユネスコエコパークや甲武信ユネスコエコパークについては、本市だけでなく、南アルプスエリアの4市町で同様のアンケートを紙で行っている。昨年は、個人を抽出して、全体で3,400通を送付している。

このうち、本市は1,000通送っている。回答率は約60%であった。

(委員) WEBの活用は。

(所管課) 地域連絡会でもこの議論はあり、紙では集計が大変なため、今後ホームページを設ける中で、WEB上でのアンケート調査も考えていきたい。

(事務局) アンケートについては、市民の皆様目標値やアンケート結果を、当然示す必要があると考えている。

一方で、市では現在「第2次北杜市総合戦略」の策定を行っており、各事業の取組状況を活動指標として示すこととしていることから、来年度以降は市民の皆様にしかりと示すことができるものと考えている。

もう一点、まちづくり推進課で行っている地下水のモニタリングの事業については、地域の皆様に関心を持っていただけるよう、周知に努めていきたい。

(委員) 甲武信ユネスコエコパーク推進事業については、新規事業となるものと思うが、その他の既存事業において、新規事業が多く見受けられる。

事業を増やしていくことは、基金の運用状況の見通しがあまり良くない見通しとの話であったことから、そのためにも先ほどの数値目標は重要であり、活動はするが結果が出ない事業については廃止を考えていかないと、事業が増えるばかりになるのではと不安に考える。

南アルプスユネスコエコパーク推進事業では、新規事業が3事業あるが、既存事業で廃止されたものはあるか。

(所管課) 例えば、甲斐駒ブランドの確立の動植物保全活用次世代育成事業については、今まで市で動植物生態系調査を実施し、まとめ終わったことから、来年度からは地域連絡会に事業をシフトすることから、区分として新規事業となっている。

その他にも環境保全普及啓発事業などは、実施主体が市から地域連絡会に移行することから、区分として新規事業となっているものもある。

(委員) 誤解しないでいただきたいが、事業を廃止していただきたい訳ではなく、今の環境を維持していくために必要な事業は実施していかなければならないと考えているので、結果が出ないものについては見直しをしていかなければ、事業が増えてしまうことを懸念して発言したものである。

(議長) 新しい事業が増えていく中で、このような意見が出てきていることから、検討課題にしていただきたい。

(委員) 数値目標をきっちりと定めていくことはよいことだと思う。

この数値目標のうち、南アルプスユネスコエコパーク推進事業において、環

境保全活動に興味がある、実践している市民の割合60%の何に対する分母か。

(所管課) アンケートを回答していただいた方になる。

(委員) 伝統芸能の保全について、映像に記録することとなっているが、実際に地域で困っていることは、衣装などの装備品の維持管理であるため、このようなものに補助制度や予算を設けられないか。

(事務局) 本基金については、本市の環境保全を目的に、各個人や企業の皆様から御協力を継続的にいただいている状況である。

御提案いただいた補助制度については、宝くじの売上金を原資とした別の事業もあるため、各総合支所に御相談をしていただきたい。

(議長) その他にNO.1からNO.4までの事業について、異議はないか。

(委員) 異議なしで承認。

(議長) 続いて、NO.5「里山整備事業補助金」から、NO.9「市民提案型事業補助金」まで事務局の説明を求める。

(所管課) 5事業について説明。

(議長) 質疑を求める。

(議長) その他にNO.5からNO.9までの事業について、異議はないか。

(委員) 異議なしで承認。

(議長) 続いて、2号議案の「その他」について、事務局から説明を求める。

(事務局) その他、本年度第1回検討委員会において、検討課題として挙げられた、市民提案型事業補助金の補助対象のうち、小生物の取扱いについて説明。

(議長) この件について異議はないか。

(委員) 異議なしで承認。

4. 閉会

午前12時終了